

## 尼崎支部と尼崎社保協の要望が一部実現

# 小学校入学前までの医療費無料化が実現へ

尼崎市は7月から小学校入学前までのすべての医療費を無料にする予算案を市議会に提出した。2年連続の改善で、協会尼崎支部と社保協の運動が一部実現した。

### 無料化を求めて署名を提出 2022年に無料の範囲をわずかに拡大

協会尼崎支部が加盟する尼崎社会保障推進協議会(尼崎社保協、会長:綿谷茂樹協会尼崎支部長)は、2021年に中学卒業までの医療費無料化を求めて署名15,000筆を提出。市民の切実な声に押されて尼崎市は2022年から、2~3割だった負担を1回400~800円に軽減するなどの改善を行った。しかし、負担が無料となる対象は、わずか数パーセントの子どもだけ(市民税非課税世帯)という内容で、子育て世代から、病気やけがをしたときにお金の心配なく安心して医療が受けられるよう、所得制限なくすべての子どもへの無料化を求める声が相次いでいた。



### 完全無料化を求めて再度、独自ポスターやラジオ番組などで市民にアピール

そのため、中学卒業までのすべての子ども医療費無料化を求めて、新たな署名運動を始めた。協会尼崎支部はポスター“子ども医療費は無料にして!”を作成し、会員に活用を呼び掛けるとともに、街頭での署名活動でも掲示して取り組んできた。また高原周治支部幹事が、ラジオ関西番組「医療知ろう!」でも市民によびかけるなど幅広い運動を展開してきた。尼崎市医師会は、2022年7月に『躊躇なく医療機関に受診できるように、無償化のための予算を確保して継続していただきたい』との要望書を市長に提出するなど無料化を求める声が広がっていった。

こうした運動の最中、2022年11月の尼崎市長選挙で当選した松本真市長は、高校3年生までの無償化を掲げ、「子育て支援や負担軽減は一丁目一番地の課題。医療費無償化推進などの具体的な検討を指示した」と表明した。市議会健康福祉委員会は、12月に医療費無料化を求める尼崎社保協の陳情を審議。共産党は賛成を表明したが、他の会派は「署名の趣旨に反対ではないが、財源の問題があり、松本市長が検討しているのでその状況をみたい」などと主張、陳情は採択されず、審議未了になった。

### 2023年7月から小学校入学までの無料化へ前進

2023年2月、協会尼崎支部と尼崎社保協は、尼崎市に対して改めて子ども医療費無料化を求めて要請を行った。市は「市の財政状況を踏まえた上で持続可能な制度について検討している。無料対象とそのための財源について試算をしているところ」などと前向きな回答していた。

今回の尼崎市予算案の背景には、このような協会尼崎支部と尼崎社保協の粘り強い運動がある。3月市議会で予算案が可決されれば、7月から小学校入学までの医療費完全無料化が実現する。

18歳までの医療費無料化の動きが全国的に広がっている。協会尼崎支部と尼崎社保協では引き続き運動を続けていく。

# 兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

430号

2023年3月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部  
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

## ラジオ関西「医療知ろう!」に尼崎支部から出演

「国・県市町の責任で  
こども医療費を無料に!」  
高原周治先生(高原クリニック)

「しもやけ症状の対策について」  
黒川晃夫先生(くろかわ皮フ科)



パーソナリティの寺谷一紀さん(両写真右)の進行で高原周治先生(左写真)、黒川晃夫先生(右写真)が出演

ラジオ関西番組「寺谷一紀のケンコー法師」内の協会提供コーナー「医療知ろう!」に、尼崎支部から2月11日に高原周治先生(高原クリニック)が、2月18日には黒川晃夫先生(くろかわ皮フ科)が出演した。

高原先生は「国・県市町の責任でこども医療費を無料に!」をテーマに、すべての子どもたちが安心して医療を受けられるように、国の制度として18歳までの医療費を無料にすることを求める署名の協力を広く呼びかけた。

「しもやけ症状の対策について」をテーマに出演した黒川先生は、しもやけの重症化を防ぐ対策や、コロナ罹患後やコロナワクチン接種後によくみられる皮膚疾患について解説し、番組リスナーから寄せられた質問にもわかりやすく回答した。

当日の様子は、放送後でも番組ブログや協会ホームページ(<http://www.hhk.jp/topics/2022/1001-090000.php>)からもご覧いただけます。



**署名にご協力ください**

**署名は2月にお届けしています**  
第一次集約は、4月28日(金)

## 尼崎市の高齢難聴者に補聴器購入の助成を!

高齢者の難聴は、「外出や人と話をするのがおっくうになる」など、コミュニケーションを困難にし、引きこもりや孤立化の原因になったり、うつ病や認知症のリスクを高めることが指摘され、高齢社会の中で見過ごせない問題になっています。

こうした中、社会交流を図りながら、住み慣れた地域で暮らしていくために、早期に補聴器を使用することが高齢難聴者の切実な願いになっています

しかし、補聴器は高価であり、保険適用がなく、また聴覚障害者以外は全額個人の負担になっているため、日常生活に不便を感じつつも、その利用が困難になっています。

このため、自治体による独自の助成制度が全国的に広まっています。兵庫県内では、明石市・相生市・養父市・稲美町が助成を行っています。

そこで、当支部も加盟する尼崎社会保障推進協議会では、尼崎市の高齢難聴者に補聴器購入の助成を求める署名を行うこととしました。

先生におかれましては、ぜひともご協力いただきますようお願い申し上げます。

追加のご注文・お問い合わせは、担当事務局石本・沖野(Tel 078-393-1809)まで

**患者さん、スタッフ・ご家族の皆様などにご署名いただきご返信をお願いします**

(署名用紙は3ページに掲載)

### 第585回幹事会だより

2月16日(木)於:わたや整形外科

○ 尼崎支部の会員数

2/1 現在 医科377人、歯科170人

○ 医療をめぐる情勢と運動対策

尼崎市が今年7月から小学校入学までの医療費無料化の予算案を提案したこと、病院入会対策・勤務医対策、今後の支部企画として支部総会、医科歯科連携研究会、医療と福祉を考える会、接遇研修会について討議した。兵庫県の医療機関等原油価格・物価高等対策一時支援金について意見交流した。

○ 4月日程 4月20日(木) 16:00～ わたや整形外科(阪急塚口駅から徒歩10分)  
お問い合わせはTel 078-393-1805 沖野・石本まで



### －職員接遇研修会のご案内－

「押さえておきたい! with コロナでの接遇のポイント～クレーム対応も含めて～」

日時: 6月17日(土) 14:30～16:30 会場: 尼崎商工会議所7階702会議室

講師: マネジメントコンサルタント 松田幸子 先生 参加費: 1,000円

お問い合わせはTel 048-393-1805 沖野・石本まで

尼崎市会議長

津田 加寿男 様

### 高齢者難聴者の補聴器購入への公的助成を求める請願署名

高齢者の難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな要因となっています。最近では会話によって脳に入る情報が少なくなることが鬱や認知症の危険因子になることも指摘されています。日本の難聴者率は、欧米諸国と大差はありませんが、補聴器使用率は欧米諸国と比べて低く、日本での補聴器の普及が求められています。

障害者手帳を交付されない中等・軽度の難聴者は健康保険等の公的補助がなく、補聴器は1台5万円～50万円と高額のため、日常生活に不便をおぼえながらも利用が困難となっている状況です。

高齢者補聴器助成につきましては、令和3年度に明石市が高齢者補聴器購入に上限2万円を助成。令和4年度には兵庫県がモデル事業として補聴器装用のニーズや社会参加の状況等を把握する調査を実施しています。

以上のことから高齢者の難聴者の補聴器購入への公的助成実施のため下記事項を実現されるよう請願します。

#### 請願項目

- 1 高齢者の難聴者の補聴器購入に係わる尼崎市独自の補助・支援事業を実施すること。
- 2 「高齢者の難聴者の補聴器購入に公的補助制度を創設する」よう国に対する意見書を提出すること。

氏名	住所

[取り扱い団体]

兵庫県保険医協会尼崎支部